

宇久高イフオムーション

平成29年 6月28日発行
編集責任者 校長 石山雅晴

2017 県高校総体

3日(金)、かきどまり陸上競技場で行われた総合開会式。本年度は全校生徒による入場行進が実現し、スタンドを埋め尽くす県内高校生や一般客の前で、20名全員が宇久高生であることに誇りをもち、胸を張り、堂々と行進することができました。

競技は、初日の陸上1500mの予選を皮切りにサッカー、バレーボールの3競技に出場しました。様々なハンディもありましたが、「一走、一蹴、一排に思いを込め」最後の一分、一秒まで全力でプレーすることができました。同窓会によるご支援、地域の方からの温かい声援、本当にありがとうございました。(教頭・高田 洋)

サッカー部は、口之津海上技術学校と対戦。2点先取された厳しい状況の中、後半、残り約10分、中島秀仁くんがゴールを決め一矢報いることができました。初戦突破を目標に頑張ってきただけに、悔しさの残る結果となりましたが、「7人で最後まで挑む姿に感動した」との声を多数いただきました。ご声援ありがとうございました。

バレー部は、諫早高校と対戦。会場も諫早高校、完全アウェーの中、選手達は力を存分に発揮しましたが、力及ばず敗退しました。最後の高総体となった平田優花さんは、キャプテンとして、チーム唯一の3年生として、素晴らしいプレーを見せてくれました。来年度の勝利に繋がるものと思います。ご声援ありがとうございました。

陸上部は、2年浦吉くんが1500mと5000mに、1年横山くんが1500mと3000m障害に出場しました。蒸し暑い天候だったこともあり、両名ともベストタイム更新とはなりませんでしたが、全ての競技を完走し、達成感を持って高総体を終えることができました。スタンドで応援していただいた、元宇久小・中の先生方をはじめ、みなさん、本当にありがとうございました。



報告会あいさつ(抜粋)

校長 石山 雅晴

出場した選手、応援の4人、私たち教員、そして、保護者の方も、すべての競技において、最後の最後までしっかりと顔を上げて、胸を張って過ごすことが出来たことを、誇りに思います。

高総体を終えた今、三つのことをお話します。

一つ目。君たちもすでによく分かっていると思いますが、全力で努力しても、必ずしも結果が出るわけではありません。私くらい生きてると、むしろ、結果が出ないことの方が多いような気すらします。たしかに、全力で努力しても、成功が保証されることはありませんが、全力で努力すれば、人間は確実に成長します。今はまだ実感としては、感じられないかも知れませんが、全力で努力できる楽しさを味わったことは、君たちの人生の大きな財産となるはずですよ。

二つ目。私たちに与えられている時間は有限です。いつまでも、何回もチャンスがあるわけではありません。チャンスが来たときに、しっかりとつかむための努力をこれからも続けてほしいと思います。

三つ目。特に三年生は、自分の進路選択にしっかりと向き合ってください。何とかなるという中途半端な気持ちは、将来必ず後悔に繋がります。安易な逃げ道を作らず、力をつけるべき時に、力を付ける努力をして、今回の高総体のように、全力での取組を期待します。

これまで、部活の仲間、そして顧問の先生方がいたように、これからも、担任の先生・教科担当の先生方、勿論、私も、全力でサポートします。勝負する君たちが、最後に弱気にならないためにも、しっかりと生活にけじめをつけ、これまで以上の取組を行ってください。勉強も運動と同じで、頑張れば、脳が筋肉痛も起こします。しかし、それを乗り越えていくことで、いつの間にか力がついていくのです。簡単に強くなる方法はどこにもありません。

これからも、宇久高は「チーム宇久高」として、一人ひとりの頑張りを、みんなの頑張りで、刺激し合い、高め合い、支え合っていきたいと思います。



選挙管理委員会講話

(5月26日)

主権者教育の一環として全校生徒を対象とした「高校生に対する選挙講話」を行いました。今年度は、講師に佐世保市選挙管理委員会の福田徳彦様と堺洋様をお招きして実施しました。内容は、政治における選挙の重要性から実際の投票や選挙運動に関わる注意事項等多岐にわたり、最後はクイズ形式での復習も行いました。まもなく有権者となる生徒にとって、その自覚や責任感を養う良い機会となりました。





7月の行事予定

1	土	土曜学習会
2	日	全商ビザ 祝文書実務検定
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	進研模試①②③ 校内基礎学力②③
9	日	進研模試③
10	月	
11	火	
12	水	長大・嶋野先生講話「地域創生」
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	
19	水	
20	木	球技大会 大掃除
21	金	保護者面談開始 オープンスクール
22	土	
23	日	
24	月	夏季補習
25	火	長崎新聞社・出前講座
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	全校集会



※表中の○数字は、学年を示します。
*急な変更もありますのでご了承ください。

連合音楽会

(5月28日)

長崎ブリックホールで開催された第61回連合音楽会に吹奏楽部が参加しました。北松西高との合同演奏も今回で30回目を迎えました。前日は、講習会でお世話になった藤重先生の活水高校で、また当日の朝は鳴滝高校で練習する機会に恵まれました。「丁寧な音づくりで色彩的な効果が出ていた」との講評をいただき、生徒たちも満足いく発表となりました。



進路講話

(9日)

ベネッセホールディングスの坂井先生と田川先生(前長崎西高校長)に講話をしていただきました。1年生を対象とした坂井先生の講話では、大学進学の方法や大学の選び方、苦手科目を克服する学習方法など、わかりやすく話をいただきました。2・3年理文Iを対象とした田川先生の講話では、解き切る学習習慣や英語の重要性、部活動や行事にも全力で取り組むこと、志望を高く持つ意義など、大学入試突破に向けた心構えや勉強法などを、熱く話していただきました。



鹿児島大学・井村准教授来島 (8・9日)

今年度から実施している宇久ストリートビューおよび冬のUkuLabo発表会の下調べを目的にフィールド調査を行いました。井村先生のご指導の下、自然科学のみならず人文科学・社会科学の側面からも、宇久島形成発達史に関する興味深い知見が得られ、今後の研究の重要な指針となりました。

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」講話 (14日)

離島のハンディ克服の方策の一つとして、インターネットを利用した講話を行いました。講師は東京大学前副学長秘書の山田智子氏。10年後に何をしたいかを想像して書くバケツリストの活動では、生徒は苦労しながらも、将来をイメージして進路を決めることの大切さを感じる事が出来たようです。



学校評議員会

(15日)

学校評議員の里村昭弘様・森 富枝様・山田誠二様にご出席いただき、標記の会を開催しました。学校側からの説明の後、委員の皆様から、高総体全校行進に対する評価、Uku Laboへの期待等を話していただくと同時に、校外でのあいさつの状況が今一歩であること等のご指摘もいただきました。今後の指導に活かして参りたいと思います。

小中高合同海岸清掃

(20日)

大浜海水浴場にて小中高合同海岸清掃を行いました。「美フォーアフター〜海・心・交流」のスローガンの下、小中学生とペアを組み、プラスチック等の漂着ゴミを中心に集めました。当日は、保護者・地域の大勢のボランティアの方々にもご参加いただき、見違えるほどきれいな砂浜になりました。ご協力、本当にありがとうございました。



教育実習

(7~20日)

本校出身で現在熊本大学4年生の中村進司さんが教育実習を行いました。最終日には、後輩に向けて「宇久という小さな島で学んでいるけど、何も引けを取ることはない。自信を持って頑張してほしい」というエールを送ってくれました。中村先生の今後の活躍を楽しみにしたいと思います。お疲れ様でした。



美術作品 (高総体応援) 生徒玄関内掲示



宇久高は、保護者の方にも見せてください!